

**デマンドレスポンスサービス「D-Response+」の開始**  
～遠隔 AI 制御エネルギーマネジメントシステムの実証について～

2022 年 12 月 15 日

大阪ガス株式会社

Daigas エナジー株式会社

大阪ガス株式会社（社長：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）、大阪ガスの 100%子会社の Daigas エナジー株式会社（社長：井上 雅之、以下「Daigas エナジー」）は、昨今の電力需給逼迫の状況、電力料金の高騰を踏まえ、法人のお客さまを対象に Daigas グループが独自に提供する新たなデマンドレスポンスサービス「D-Response+（ディーレスポンスプラス）」を開始しました。

これまで Daigas グループは、一般送配電事業者が行う調整力公募<sup>\*1</sup>において、アグリゲーターとしてお客さまに電力負荷設備や自家発電設備（以下「負荷設備等」）をコントロールいただき、電力需要を抑制することで、お客さまが報酬をお受け取りいただけるデマンドレスポンスサービス「D-Response」を展開してきました。現在 300 拠点を超えるご採用となっています。

「D-Response+」は、Daigas グループが発動する節電要請に応じてお客さまに電力需要を抑制いただくことにより、報酬をお受け取りいただけます。お客さまは、昨今高騰している電力料金を削減だけでなく、電力需給逼迫という社会問題の解決に貢献いただけます。

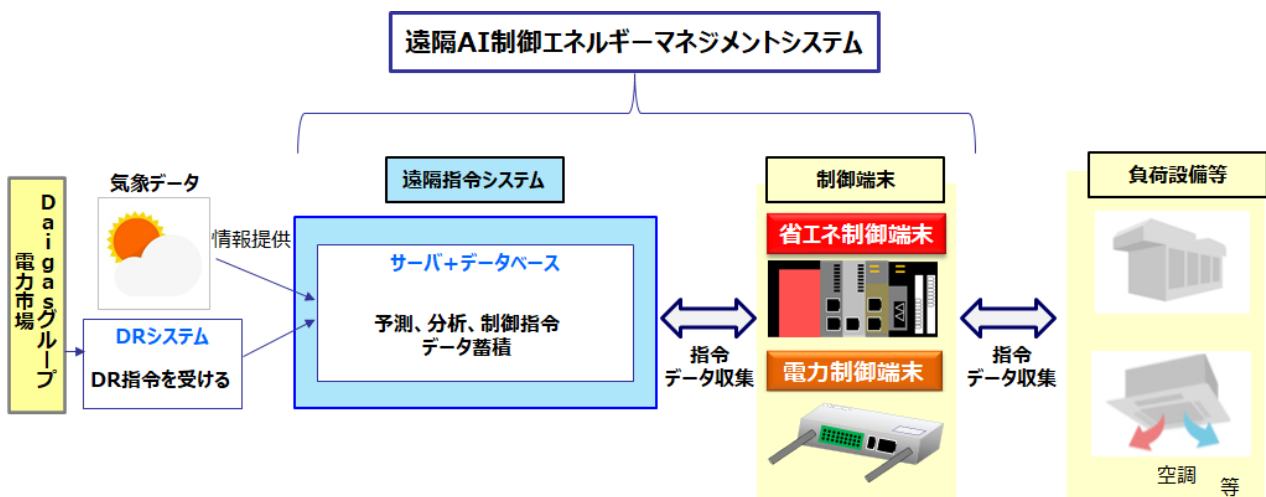
このたび「D-Response+」をご契約いただくお客さま等にて、遠隔 AI 制御によるエネルギーマネジメントの実証を開始しました。これまでデマンドレスポンスや省エネ対応においては、お客さまにて負荷設備等のコントロールをしていただくことが必要であり、一部のお客さまではご対応いただくことが困難でした。より多くのお客さまとともに、社会問題である電力需給逼迫の解決と省エネの推進に貢献していくことを目的に、本実証では、Daigas グループが負荷設備等の遠隔自動制御を行い、お客さまにご負担をおかけすることのない電力需要抑制や省エネ対応の実現性を検証します。

本実証のエネルギーマネジメントシステムは、Daigas グループ独自の AI 制御<sup>\*2</sup>を搭載し、予測機能、データ収集・分析・蓄積機能を有するクラウド型の「遠隔指令システム」と、負荷設備等のデータ収集や制御信号を出す「制御端末<sup>\*3</sup>」で構成されています。今後、複数のお客さまにて実証を進め、2023 年夏からの本格運用を目指します。

Daigas グループは、2021 年 1 月に「Daigas グループ カーボンニュートラルビジョン」を発表し、グループをあげて脱炭素化に取り組んでいます。Daigas エナジーは、「D-Lineup」を中心にエネルギー会社の強みを活かした低・脱炭素ソリューションを提供することで、お客さまの課題を解決するとともに、社会課題である電力需給の安定化、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

- ※1 一般送配電事業者が周波数制御および需給バランス調整のために協力できる需要家を公募により集める制度。Daigasグループは、需給逼迫時に対応が求められる「電源 I' 厳気象対応調整力」の区分でお客さまにデマンドレスポンスを要請するアグリゲーターとして参加しています。
- ※2 大阪ガスが開発した気象予測も取り込みながら「電力需要」と「太陽光を含む発電量」をAIで予測する機能です。
- ※3 制御端末には、PLC(Programmable Logic Controller)を搭載し、コージェネレーションシステムや中大規模空調に対して最適な省エネ運転制御を行いながらデマンドレスポンス制御を行う「省エネ制御端末」と、EHP・蓄電池・ポンプ等の単体機器に対して主にデマンドレスポンス制御を行う「電力制御端末」の2種類があります。

<遠隔AI制御エネルギーマネジメントシステムのイメージ>



<遠隔 AI 制御エネルギーマネジメントシステムを活用した実証>

実証先お客さま名	制御端末	負荷設備等	実証内容	
学校法人山口学園 ECC コンピュータ 専門学校	電力 制御端末	EHP	D-Response+	
西国第二十三番札所 応頂山勝尾寺		噴水ポンプ		
エクシオグループ 新木場総合技術 センター		蓄電池	デマンド制御	
スーパーおくやま		EHP	省エネ運転制御、 D-Response+	
京都リサーチパーク	省エネ 制御端末	コージェネ レーション システム、 空調	最適運転制御	

以上